

市議会だより

No.251

70年 輝く吹田 ゆめ未来

イメージキャラクター すいたん



ことし、吹田市制は70周年を迎えます

編集者 神保 義博
梶川 文代・竹内 忍一
村口 始・六島 久子

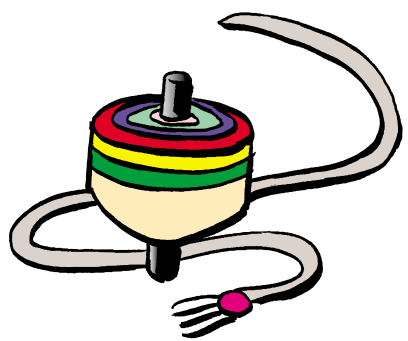
発行所

吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市議会事務局
代表電話 06(6384)1231
直通電話 06(6384)2696



迎春飾り(和のミニリース)づくり教室
(浜屋敷(南高浜町)で昨年11月下旬に開催)

初春



新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、わが国の経済は、世界同時不況の余波からいまだ脱却できず、失業率悪化や雇用不安の広がりなど予断を許さない状況が続いております。

このような中、地方自治体には、地域住民のニーズに合致した主体的な施策の展開はもちろん、魅力と活力のある地域づくりが求められております。

本市では、現在、吹田操車場跡地においての東部拠点のまちづくり事業や、千里南地区センター再整備事業、また、災害時等における盤石な危機管理体制の確立など、重要な課題が山積しております。

市議会といたしましては、厳しい財政状況が続いておりますが、行財政改革の推進はもとより、市民生活のさらなる向上と安心・安全のまちづくりを目指し、各種施策の推進に鋭意取り組んでまいり所存でありますので、皆様方の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



市議会議長

山本 力

年頭のごあいさつ

議長	山本 力	(住所)	千里丘中58番19号	(電話)	6876-1569
副議長	神保 義博		江坂町2丁目1番8-1208号		6386-0359
議員	澤田 雅之		佐井寺1丁目14番1号		6821-6100
	川本 均		垂水町2丁目35番16号		6385-1157
	生野 秀昭		山田西1丁目16番12号		6877-8100
	中本 美智子		五月が丘東9番12-102号(連絡所)		4864-2874
	有沢 孝子		内本町1丁目1番23号1(連絡所)		4860-2377
	池淵 佐知子		千里山5丁目2番5号(アネビル2(連絡所))		4861-7418
	西川 敏穂		藤が丘町27番1-107号		6330-4455
	梶川 文代		日の出町9番29号		6319-3337
	竹内 忍一		南正雀1丁目16番7号		4860-1331
	木村 裕		藤白台1丁目2番D33-109号		6832-5917
	和田 学		山田北15番1(北三ノ丸)		6875-5216
	和田 泰弘		日の出町10番34号		6383-6640
	野田 弘		竹見台2丁目1番C13-103号		6833-7939
	吉瀬 武司		古江台5丁目2番A2-402号		6872-2560
	小北 一美		山田西2丁目9番A3-503号		6875-0098
	坂口 妙子		垂水町1丁目31番22号(連絡所)		6337-7701
	石川 宗勝		山田東4丁目41番5-814号		6567-8750
	神谷 亮幣		千山西1丁目33番14号(ビル2(連絡所))		6310-5757
	藤木 栄勇		寿町1丁目8番17号		6383-0713
	由上 亮		佐竹台1丁目5番5-605号		6871-5665
	森本 彪		山手町3丁目21番7号		090-1956-2170
	村口 博		垂水町3丁目24番14-820号		6389-2740
	竹村 之始		泉町2丁目36番41号		6384-5950
	島久 晃		春日4丁目2番1-1013号		6380-2684
	六島 久子		豊津町21番28号		6384-3229
	豊田 稔		津雲台3丁目2番A5-404号		6831-3879
	野村 義弘		朝日が丘町12番22号		6388-7100
	伊藤 孝		山田西1丁目22番A2-1308号		6877-9770
	倉沢 恵		古江台5丁目2番A1-409号		6831-3131
	曾呂 邦雄		内本町1丁目15番14号		6382-3733
	山根 孝		長野東9番9-403号		6876-7058
	塩見 みゆき		佐竹台4丁目1番10-214号		6831-5664
	柿原 真生		昭和町10番5-201号		6383-3370
	玉井 美樹子				(議席順)

決算委員会の審査から

平成20年(2008年)度の各会計の決算は、一般会計が単年度収支では1億5598万円の黒字、9特別会計の総計は1億7672万円の赤字です。また、事業会計は水道が2億87万円の黒字、病院が6億6857万円の赤字です。

市議会では、これらの決算を閉会中に特別委員会で審査し、12月定例会の初日に認定しました(一般会計は賛成多数で認定)。審査の一部をお伝えします。

なお、委員会の会議録は市役所の情報公開課をはじめ、図書館に備えており、市のホームページでもご覧いただけます。

一般会計

公用車の事故等の防止指導を徹底せよ

(民主市民連合)

問 毎定例会、公用車の事故等に係る損害賠償額の専決処分報告がされており、職員に気の緩みがあるように感じる。

答 全職員が安心、安全に対してより厳しい意識を持って取り組む必要があると考えるが、職員への指導を徹底すべきではない。



事故等の防止に向け、より安全な運転が求められる

増加するいじめ・不登校 具体的な指導を

(自由民主党)

問 小・中学校においていじめや不登校が増えている。道徳教育の充実を図るなど成長期の子供に具体的な指導を行っていく必要があると考える。今後の教育委員会の取り組みについて聞きたい。

答 教育長 知、徳、体といも含めると大きく事業費が膨らみ、市の財政を圧迫し、将来に負担を強いるのではないかと懸念している。

答 副市長 基盤整備に要する市の負担額は約30億円と見込んでいますが、それ以外は民間資金を導入してまちを構成するよう計画している。

特に核となる施設を中心とした企業集団によって事業や資金調達を組み立てることで、健康



基盤整備の工事が進む東部拠点

病院会計

女性総合外来

(公明党)

問 市民病院の女性総合外来は、女性特有の疾患・疾病に性差医療の視点で総合的に取り組んでおり、高く評価できる。受診者数が近年減少しているが、病診連携の活発化のためにも現在の午後の診療を午前中に行えないか。また、性差医療の実践の場として、女性総合外来の設置がよい方向に進むよう、受診者が望む医療の提供に努力すべきではないか。

答 市民病院 女性総合外来は女性の内科部長が一人で担当しており、現状では、午前中の

総合的な力をはくむうえで、学校だけでなく、地域や家庭が総合的に子ども徳育の部分を担っていくと考える。

現在検討を進めている子育て・教育の基本となる条例の中に、それぞれの果たすべき役割を盛り込むなど、学校以外のさまざまな分野と連携し、問題解決に向けた取り組みを進めていきたい。

答 副市長 基盤整備に要する市の負担額は約30億円と見込んでいますが、それ以外は民間資金を導入してまちを構成するよう計画している。

ネジメント等を行い、創業へのモチベーションを高めるとともに、適切な支援による廃業率の低下に取り組むべきではないかと懸念している。

答 産業労働にぎわい部 E B I C 吹田での支援についてどういった問題があったのか、現在入居していた事業者への追跡調査を開始したところである。今後、E B I C 吹田での経験や反省を踏まえたうえで、どのような創業支援を行うべきか検討していきたい。

答 家庭環境に配慮した保育 各保育所の状況を調査せよ (日本共産党)

問 家庭支援推進保育事業について、ことぶき保育園のみが対象となっているのはなぜか。

答 児童部 同事業は、家庭環境に対する配慮など、保育を行ううえで特に配慮が必要な児童の割合が40%以上の保育所を対象に、次世代育成支援対策交付金が交付される。国の限られた

時間帯での医師の配置は困難である。今後は、窓口の拡充など、活性化の取り組みを検討したい。

老朽化する市民病院 公的病院のあり方を問う (自由民主党)

問 市民病院は建築後27年が経過し、老朽化が進んでいるが現在の厳しい経営状況等を考えると、今と同規模の病院に建て替えるのは困難である。潜在的患者数の把握や市内の医療機関等とのすみ分けを行い、セーフティネットの役割に特化した病院に移行すべきではないか。

答 市民病院 市民病院のあり方については、救急外来などのセーフティネットに徹するべき、総合的な診療を続けるべき等のさまざまな意見がある。今後市民の意見を十分聞いたうえで、

件数は昨年度は減少したが、それは新聞等が、軽症者への救急出動により、本当に救急車が必要な患者が重篤化すると報道を繰り返しているからではないかと考える。本市も引き続き救急講習会やケーブルテレビ等、あらゆる機会を通して救急車の適正利用に向け啓発したい。

救急車の救急出動 効率的な運用に努めよ (大阪再生塾吹田)

問 救急車の出動は、昨年度1万4927件であり、出動1件当たり5万円近くの費用が掛かっているが、搬送者の約65%は入院加療を必要としない軽症者である。救急搬送が必要とされる重症者に備えるためにも、安易な利用を減らすための広報活動を行うなどし、効率的な運用に努めるべきではないか。

答 消防本部 救急車の出動で、建て替えや改修について最終的に判断をしていきたい。

問 豊能地域の4市2町で設立した豊能広域こども急病センター(箕面市)で集約して実施しており、その中で当院は、入院治療等を要する二次救急の輪番を週4回担当している。また、当院の休日昼間の救急は、国立循環器病センター等の応援を受け対応しているが、これ以上負担が増えれば、本来業務に支障が生じるとの意見が医師から出ている。現状としては、何とか今の体制を維持していきたい。

答 市民病院 小児救急は、直圧方式は、受水槽方式と比べて、より安心、安全に給水できる。しかし、施設所有者にとつては配水管から官民境界までの施工費等の費用負担が大きいため、普及は進んでいない。普及促進のため、受水槽を設置している施設所有者に市が施工費の補助を行う考えはないか。



今後のあり方が問われる市民病院

水道会計

直結直圧給水の普及促進 施工費の補助を実施せよ

(民主市民連合)

問 小規模共同住宅へ水道水

して、市民の目によく触れる場所に設置するなどPRに努めるべきではないか。

答 環境部 昨年3月に策定した第2次環境基本計画において、公共施設における先進的な緑化の推進を掲げており、緑のカーテンについては、今年度新たに38か所に展開し、現在46か所の公共施設で実施している。

本庁舎については、避難器具の設置箇所など制限がある場所もあるので、今後、関係部局と調整し、できる限り市民の目によく触れる場所に設置したい。

問 本市では公共施設の壁面や軒下へネット等を設置して、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物を栽培し、地球にやさしい自然の、緑のカーテンを設置しているが、現状を聞きたい。

また、本庁舎の緑のカーテンを地球温暖化対策のシンボルと



ゴーヤでつくった緑のカーテン (津雲台小学校)